

第1章 調査の目的と概要

1 調査目的

現在、我が国では、仕事と家庭の両立支援や女性活躍促進の取組を進める中で、女性の就業率が年々増加する状況にある。様々な分野で活躍する女性が増える中で、改姓によるキャリアの分断等为了避免のため、職場における旧姓の通称としての使用が広がりつつある。

平成28年5月20日にすべての女性が輝く社会づくり本部にて決定された「女性活躍加速のための重点方針2016」では、「通称使用の実態、公的証明書や各種国家資格制度における現状と課題について調査検討を行い、その結果を踏まえ、企業や団体等への働きかけを含め、必要な取組を進める」こととされた。本調査は、職場における旧姓の通称としての使用の実態を把握し、今後、必要な取組を進めるために実施するものである。

2 調査概要

インターネット調査による個人調査と、郵送調査による企業調査の2つの調査を実施した。

(1) 個人調査

① 調査対象及び調査方法

(i) スクリーニング調査

まずは、インターネット調査モニターに対してスクリーニング調査（WEB アンケート調査）を実施し、全国の20～64歳、有職、既婚で改姓経験のある40,903人（うち男性44人）のサンプルを得た。

この40,903人に、旧姓使用の状況を尋ねたところ、「現在、旧姓を使用している」と回答した者（旧姓使用者）の割合は、20～64歳の女性の10.0%であった。

表1.1 有職・既婚の女性に占める旧姓使用者の割合

	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	総計
旧姓使用者の割合(%)	17.5	13.3	6.6	3.4	2.0	10.0

(ii) 本調査

40,903人から抽出した12,491人に対して、旧姓使用の範囲（名札、社員証等）や旧姓使用をしなかった理由を尋ねる本調査（WEB アンケート調査）を実施し、以下の回答数を得た。

- ・旧姓使用者 : 3,209人（うち男性4人）
- ・過去に旧姓を使用していた者 : 896人（うち男性0人）
- ・旧姓を使用の経験がない者 : 4,503人（うち男性3人）

② 調査内容

回答者属性、旧姓使用の状況、旧姓使用の範囲、旧姓使用をしなかった理由 等

③ 調査期間

平成28年10月20日（木）～同月24日（月）

(2) 企業調査

① 調査対象

常用労働者 10 人以上の企業について、常用労働者数により、10~29 人、30~99 人、100~299 人、300~999 人、1,000 人以上の 5 つに分けて、計 10,000 社に調査票を送付した。なお、10 人未満の企業も 294 件回収したため、分析対象に含めた。

② 調査方法

郵送調査

③ 発送数・有効回収数・有効回収率

発送数：10,000 社

有効回収数：4,695 社

有効回収率：47.0%

表 1.2 回収票の企業規模

	回答 企業数(社)	割合 (%)
不明	12	0.3
10 人未満	294	6.3
10~29 人	1,115	23.7
30~49 人	586	12.5
50~99 人	518	11.0
100~299 人	917	19.5
300~499 人	419	8.9
500~999 人	371	7.9
1,000 人以上	463	9.9
総計	4,695	100

表 1.3 回収票の業種

	回答 企業数(社)	割合 (%)
鉱業、採石業、砂利採取業	10	0.2
建設業	538	11.5
製造業	986	21.0
電気、ガス、熱供給、水道業	38	0.8
情報通信業	191	4.1
運輸業、郵便業	366	7.8
卸売業、小売業	736	15.7
金融業、保険業	105	2.2
不動産業、物品賃貸業	76	1.6
学術研究、専門・技術サービス業	133	2.8
宿泊業、飲食サービス	89	1.9
生活関連サービス業、娯楽業	49	1.0
教育、学習支援業	150	3.2
医療、福祉	695	14.8
複合サービス事業	68	1.4
サービス業(他に分類されないもの)	465	9.9
その他	0	0.0
総計	4,695	100

④ 調査内容

回答した企業の属性、旧姓使用の状況、旧姓使用の範囲、旧姓使用を認めていない理由 等

⑤ 調査期間

平成 28 年 10 月 3 日 (月) ~ 同月 21 日 (金)

3 報告書を見る際の注意点

(1) 数値の見方

- 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答人数である。
- 百分率（%）の計算は、小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、単独回答においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- 複数回答においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- 本文、表、グラフは表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

(2) 用語の定義

本報告書では、以下の用語を下記の通りとする

- 有職／仕事（をしている）・・・収入をとまなう仕事について、普段の状況を指し、病気等で現在一時的に仕事をしていない場合も「仕事をしている」に含まれるとした。
- 旧姓使用・・・結婚前の旧姓等を通称として使用すること
- 常用労働者・・・次のうちいずれかに該当する労働者をいう。
 - ・期間を決めず、又は1カ月を超える期間を決めて雇われている者
 - ・日々又は1カ月以内の期間を限って雇われている者のうち、前2カ月にそれぞれ18日以上雇われた者